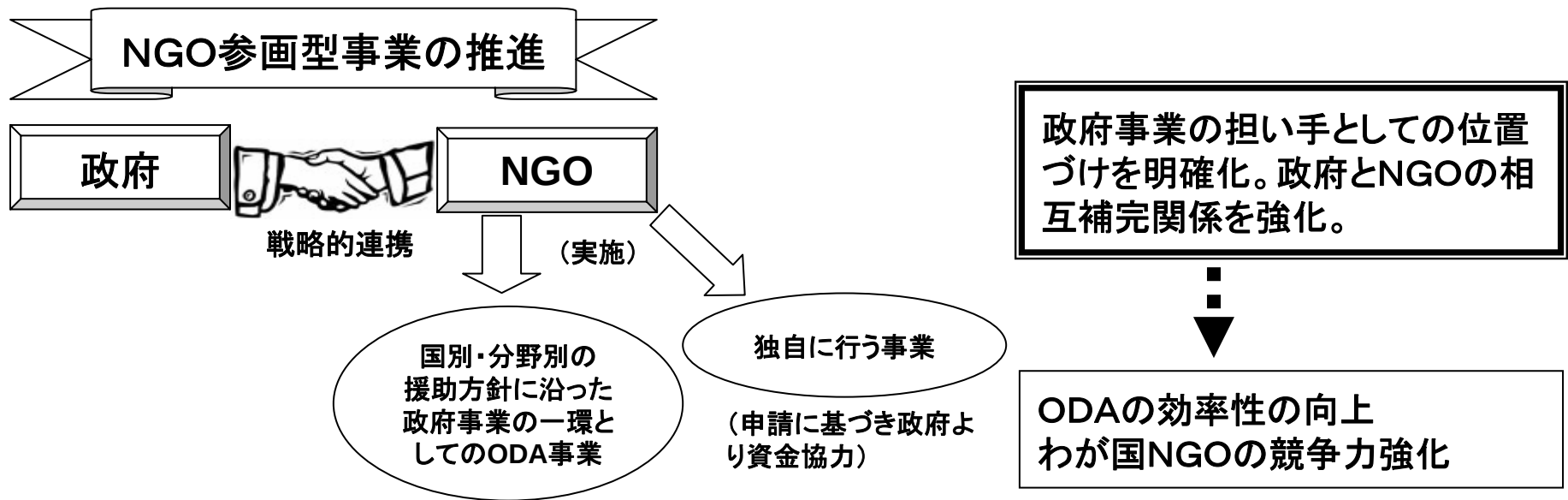


NGO能力強化・連携ビジョン

～NGOとの戦略的連携に向けた5ヶ年計画～



目標: NGO参画型事業の実績を5ヶ年で飛躍的に増大。
(ただし、ODAの質と効率性を維持するため、NGO枠を設けるものではない。)

✓制度面での施策

- NGOが参加できるODAスキームの拡充(企画招請方式)
- 現場でのNGOと政府／関係機関／国際機関の共同作業の拡充
- NGO委託型事業の新規導入の検討

✓能力強化策

- 政府との連携型事業を応札し、実施できるだけの実践的な能力向上のための支援を大幅拡充。
- NGOと学界・民間・政府間の人材交流を促進。

平成19年度外務省ODA予算案(NGO関連)

1. NGOの組織強化

2.9億円から4.7億円への1.8億円の増額(64.2%増)

(主な新規事業)

長期ステディ・プログラム(外務省:NGO中堅職員8名対象、3,400万円)

インキュベーション・プログラム(JICA:NGO若手職員40名対象、8,000万円)

2. 政府ODA事業へのNGO参画促進(JICA関連)

11.36億円から14.96億円への3.6億円の増額(31.7%増)

3. NGOへの資金協力

無償資金協力予算全体が2.7%の減額(▲46.25億円)となっている中、日本NGO連携無償資金協力(注)は28億円計上(▲1.8%、▲0.5億円)。

(注:平成19年度より、「日本NGO支援無償資金協力」を「日本NGO連携無償資金協力」に名称変更。)

4. NGO 関連経費全体

草の根・人間の安全保障無償を10億円削減(▲9.1%)したことに伴い、全体としては対前年度比▲4.1%の157億円。